

Jim Butler Group

Player profiles



Jim Butler (サクソフーン/ジム・バトラー)

アメリカカリフォルニア州出身のジム・バトラーは48年以上のキャリアを持つサクソフーン奏者で、どんな演奏スタイルにも対応できるマルチなアーティストである。

特にこの24年間「ジム・バトラーグループ」を率いてアメリカやアジアなど37カ国でツアーを行い、去年までに8枚のCDをリリースしている。

ジムバトラーは米国のテキサス大学で音楽の博士号を取得後、そのキャリアを音楽教育者としてスタートし、ジャズ・アンサンブルやサクソフーンをはじめとする木管楽器の指導を行う他、プロのサクソフーン奏者として様々なアーティスト達(メル・トーマ、ローズマリー・クルーニー、クリスタル・ゲイル、ザ・ドリフターズ、渡辺貞夫他)との共演を行い、アメリカのジャズ専門誌では、「ジムバトラーはスイング感を失わない最も優れたアーティストである。」と高く評価され「**ジャズサクソフーンの伝道師**」として世界を舞台に活動している。



Risa Beddie (ヴォーカル/リサ・ベディ)

幼少期から日常的に歌ってばかりいたリサは、12歳から声楽のレッスンを始め2018年にTanglewood Instituteに参加する。

19歳の時にオベリン合唱団ソロイストとしてカーネギー・ホールにてソロデビューし、オベリン・コンサーバトリーでは、La Tanya Hall(現在スティーリー・ダンのメンバー)にジャズボーカルを師事。声楽をMarlene Rosenに師事し、クラシカル、ジャズ、R&Bなど、幅広い分野での歌唱テクニックを持ち、時にはロマンチックで親しみやすく、時にはキラキラ感のあるファンキーでパワフルな変化に富んだパフォーマンスを届け多くのファンを魅了し続けている。



Daniel Baeder (ドラムス/ダニエル・ベーダー)

1978年、ブラジル、サンパウロ生まれ。

4歳でピアノ、11歳でベースを始め、12歳で既にプロのドラマーとして活動を始め、14歳の時サンパウロの音楽学校でドラムを教え始める。

15歳の時に南米で一番大きなドラムフェスティバル「Batuca」に参加しDave Weckl、Jojo Mayer、Dom Famularo、Virgil Donatiなどの名だたるドラマーと共演した。

それ以降、世界中のフェスティバルや、連日様々なアーティストとのレコーディング、舞台から子供向け作品などの作曲やテレビ番組でのショーに出演するなど活躍する。



Ryoichi Zakota (ベース/ザコタリョウイチ)

2005年にニューヨーク州New School Universityを卒業

Joe Chambers(ds), Carl Allen(ds), Kiyoshi Kitagawa(b), Andy McKee(b)の各氏に師事。

卒業後は、Ben Street(b), Pete Rende(p)各氏よりレッスンを受けニューヨークの様々なシーンで演奏する。2015年、サッポロシティージャズコンペティションに河野祐亮ピアノトリオの一員として参加、優勝を果たす。2016年には世界最大のジャズフェスのひとつオーストリア/Wien Jazz FestやロンドンRonnie Scott'sで演奏しジャズ界のベーシストとして存在感を示している。



Dennis Lambert (ピアノ/デニスランバート)

メキシコ出身で5歳からピアノを始める。

プロのミュージシャンとして世界中を飛び回り演奏をし、数百万もの人々にジャズの素晴らしさと感動を与え続けている。

また、世界各国の様々なセレモニーやフェスティバルで演奏するとともに、最近ではアメリカ合衆国クリントン元大統領とケネディー元日本大使の前で演奏するなど数多くの国家行事に参加している。

更には、サンアントニオ交響楽団のルーファス・レイド、エディ・ダニエルズ、ジェーソン・マーサリス、バッチ・マイルズ、その他世界の著名なアーティストとも共演している。

デニスは、「**ジョンフィリップス賞**」をはじめ数多くの賞を受賞し高く評価され、卓越した鍵盤裁きは多くのジャズファンを魅了し続けている。